

チャレンジデー2014

目標を

大きく上回る67.9%

5月28日(※)「チャレンジデー2014」が町内各地で行われました。

チャレンジデーとは、毎年5月の最終水曜日に世界的規模で実施されている、住民参加型のスポーツイベントです。

人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して運動やスポーツをした住民の『参加率(%)』を競い合います。

今年の対戦相手は、北海道の鷹栖町と長野県の喬木村。対戦相手に敗れた場合は、相手自治体の旗を庁舎のメインホールに1週間掲揚し相手の健闘を称えるとともに、友好を深めることにもつながるルールがあります。

年齢や性別を問わず誰もが気軽に参加でき、『住民の健康』『こころ』『スポーツ振興』『地域の活性化』のきっかけづくりに最適なスポーツイベントです。

2回目の参加となった今年の参加率の目標は60%。

当日のオープニングイベントは役場本庁舎前でラジオ体操を行い、その後は、グラウンドゴルフ、リズム体操、体協スポーツ少年団・各専門部の活動等が行われました。

またファイナルイベントでは、やさしいエアロビクスや甲州戦記サクラライザーの登場で来場者を楽しませてくれました。

結果は、67.9%（昨年の58.3%）と、勝負には敗れたものの目標を大きく上回る事ができました。

このイベントを機に、自分に合った運動を継続して実施し、「健康づくり」に心がけてください。

ご協力ありがとうございました。

対戦成績

	南部町	鷹栖町	喬木村
実施回数	2回目	3回目	13回目
人口	8,683人	7,293人	6,709人
参加者	5,895人	4,554人	4,821人
参加率	67.9%	62.4%	71.9%

※人口基準日 H26.2.1



みんな一緒にエアロビクス

南部町消防団部長・新入団員講習会、本部消防表彰

6月3日(※)『南部町消防団部長・新入団員講習会』が役場本庁舎で行われました。

この講習会は昨年から始まり2回目となります。各部部长、新入団員を対象として消防防災に係る職務に必要な心構えや使命、基礎的知識、技能を習得し安全かつ能率的に活動を遂行できるように現場への適応能力を身につけること、そして、講師に峡南消防本部中部消防署南分署の片田教官を迎えて講習が行われました。

ホースの担ぎ方や敬礼の仕方などの基礎的なことから、具体的な消火方法、災害現場での活動・安全確保等の内容で講習が行われ各部部长、新入団員は真剣に聞き入っていました。

地域の安心・安全の確保に向け技術・能力を身につけるために今後も消防団活動にご理解と御協力をお願いいたします。

また、6月5日(※)には南部警察署にて南部町消防団本部消防が昨年の山岳遭難に貢献したことが評価されて表彰を受けました。



南部警察署長より表彰を受けました



講習会の様子

春季移動消防学校

6月8日(※)、南部町消防団による『春季移動消防学校』が旧富河中学校グラウンドで行われました。

この消防学校は、各部の正副部長と新入団員を対象として講師は峡南消防本部中部消防署南分署の職員を迎えて規律訓練などが行われました。本年は新入団員16名と各部の正副部長44名が講師の掛け声にあわせて規律正しく機敏に動く訓練を行いました。

また富士川河川敷ではポンプの性能試験が行われ、各部の消防ポンプ車や小型ポンプが専門の業者により入念な点検が行われ、有事の際に速やかな消防活動が出来るように整備を行いました。



ポンプ車性能点検

教育委員長選任

5月1日に開かれた南部町教育委員会臨時会において、瀧政幸さんが教育委員長に選任されました。よろしくお願ひします。

新委員長紹介



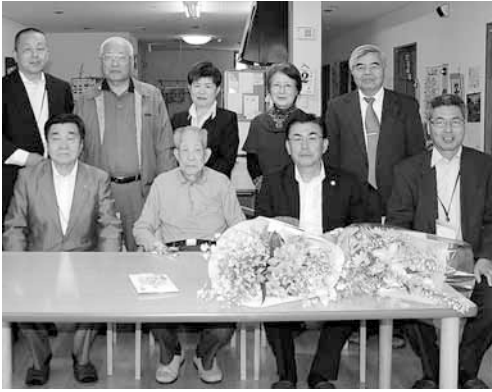
新教育委員長
瀧 政幸 さん

100歳お誕生日おめでとう

南部の栗原四郎平さんが100歳となられました。

栗原 四郎平さん

大正3年5月2日生まれ
昭和16年9月、妻・榮子さんと結婚し、女の子を4人授かりました。現在は南部の郷で元気に生活しています。本当におめでとございます。



栗原四郎平さん

なんびいきいき大学

5月22日(木)、「健康・長寿・生きがい」をテーマに、なんびいきいき大学開講式と第一回学習会が活性化センターで開かれました。

若林四郎学長のあいさつと学生信条朗読後、佐野和広町長の講話では、人口減少の問題、町民の健康づくり、教育や南部町の課題・現在進めていること等の話に会場いっぱいのいきいき大生が、熱心に聞き入っていました。また、講話の後は参加者全員で軽スポーツを楽しみました。

なんびいきいき大学は、来年2月まで毎月1回、様々な内容で学習会を開催していきますので、ごなたでもお気軽にご参加ください。

内容・開催日等のお問い合わせは、生涯学習課 ☎64-3115 (直通)へお願ひします。



佐野町長講話

ダウン症の書家 金澤翔子書品展開催

去る5月24日(土)、アルカディア体育館で、金澤翔子さんが大きな紙にその場で書く席上揮毫と母・泰子さんのトークショーが行われました。

会場には約800人が来場し、目の前で翔子さんが大きな筆で、「感謝」の二文字を書きました。

その後、泰子さんのトークショーが行われ、ダウン症と診断された翔子さんの現在までの様子、また母親としての想いなどを話していただき、会場は拍手と感動に包まれました。

翔子さんは、生まれて間もなくダウン症と診断されました。その後5歳の頃から書道を始め、全日本学生書道連盟展などに多くの作品を出品し、学生書道としては最高位である金賞を受賞しました。これを機に、

書家として各地で個展・席上揮毫を行い、また平成23年には福島県いわき市に、東日本の復興を願い「金澤翔子美術館」を開設しました。



「感謝」の二文字を書いていただきました



左：金澤翔子さん 右：母・泰子さん

翔子さんの作品を展示した書品展は、6月15日(日)まで町立美術館で開催しています。入場料は、高校生以上が500円、小学生と中学生は200円となっていますので、この機会にぜひ一度ご覧ください。